

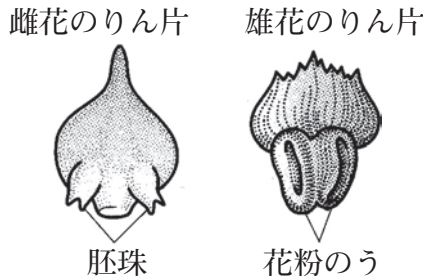
〈解答〉

- ① (1) 名称 裸子植物 記号 ウ, カ, ク (順不同) (完答)
 (2) ① まつかさ (ひらがなのみ可) ② イ ③ イ (完答)
 (3) P
 (4) 花粉のう
 (5) ① ウ ② 胚珠

配点 各1点 6点満点

〈解説〉

- ① (1) マツの花には子房がなく、胚珠がむき出しになっている。子房がないので、受粉後に果実はできず、むき出しの種子ができる。種子植物の中で、胚珠や種子がこのようにむき出しになっている植物を裸子植物という。マツ以外で裸子植物に分類される植物は、選択肢ウのスギ、カのソテツ、クのイチヨウなどである。アのヘゴはシダ植物、イのイネは被子植物の単子葉類、エのゼニゴケはコケ植物、オのツツジとキのサクラは被子植物の双子葉類に分類される。
- (2) 1図にAで示したものはまつかさとよばれ、雌花が成長したものであり、種子の集まりになっている。1図にQで示したものの下に2個見られるものが今年の雌花で、今年の雌花がさらに成長してA (一今年の雌花) ができる。
- (3) 2図のXは雌花のりん片、Yは雄花のりん片で、1図では、Pが雌花、Qが雄花の集まりである。
- (4) 次の図のように、雌花のりん片には胚珠、雄花のりん片には花粉のうというつくりが見られ、花粉のうの中には花粉がつまっている。よって、3図のマツの花粉は雄花のりん片から採取したものである。



- (5) 花粉の両側に空気袋が2個ついていて、空気袋の中には空気が入っていることから、マツの花粉は風によって遠くまで運ばれやすいつくりになっている。このように、風によって花粉が運ばれている花のことを、特に風媒花という。